

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

# 波佐ネット通信

No. 244 2023.10.16

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

ほたる湯館G・ゴルフ場

## 「石見たたら研究会」が発足

たたら製鉄の研究者が挙って共同研究をする「石見たたら研究会」が10月15日(日)に初会合を開き発足した。共同研究は、波佐文化協会が参加を呼びかけ島根県下から8名の参加でスタートした。

浜田市金城町波佐イ 267-2 石見地域研究センターを拠点会場として、向う3年間を目途に共同研究を行い、令和8年度に共同研究の成果を刊行する予定である。

石見地方の「たたら製鉄」の歴史は古く、中世には「黒金」と呼ばれ、金・銀の10倍もの貨幣価値があったと伝えられています。石見地方は古代から明治末期まで「たたら製鉄」で栄えた地域でした。

しかし、石見地方の「たたら製鉄」の解明については、殆どが手つかずの状態です。

今回、石見地方のたたら製鉄について、複数年かけて共同研究で、総合的に調査研究を深めていきます。主催団体は、波佐文化協会と、いわみ文化振興会様の支援を受けて実施します。

年間3回の集合検討会を開くと共に平素は、たたら文書6,600点のデータを共有し、各自が調査研究を独自に進める方法で実施する。鉄山の開設から終末期までの全貌解明と鉄穴流し、たたら製鉄、鍛冶屋、荷馬運搬、販路、許認可、運上銀、地域住民との関わり、北前船での販路、明治時代の九州への販路、頼母子講による資金調達、金屋子信仰などを共同研究テーマとする。

特に、江戸末期から明治の終末期までの「たたら製鉄」に関する地域経済と流通を中心に研究を深めて行きます。なお、共同研究に、ご参加を希望の方は波佐文化協会へご連絡願います。



江戸末期の長割鉄の荷札（木製） 商標、長割鉄10貫目、三浦彦太郎

### 波佐文化協会

〒697-0211 浜田市金城町波佐イ 267-2

石見地域研究センター内

携帯番号 090-4697-2818

e-Mail : bunka@hazaway.com

<http://hazaway.com/culture/hazabunkakyoukai/>